



群馬リハビリテーション病院

真ごころ

magokoro

15 | 季刊 |

2020

公益社団法人 群馬県医師会 群馬リハビリテーション病院

—特集—

当院の嚥下^{えんげ}外来について

食べる事は
生きること。



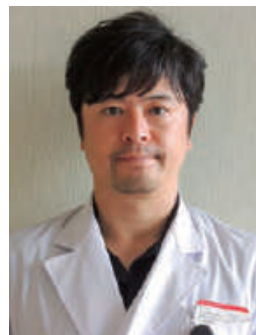
西野目整形外科医長のあいさつ

群馬リハビリテーション病院で勤務している西野目昌宏と申します。

2001年浜松医科大学を卒業後に地元である群馬に戻り群馬大学整形外科に入局し、2014年4月より当院に就職させていただきました。現在整形外科疾患を中心にリハビリテーションに関わっております。

昔、自分がまだ小学校高学年のとき父親が当院(旧沢渡温泉病院)にリハビリ入院したことがあり、母親に連れられて何度かお見舞いに来たことがあります。伊勢崎付近から車で行ったのですが、とても遠い山の中にある病院ということだけしか覚えておりません。ただ、坂道を上っていくと遠くに白い病院が見えてくるところはうっすら記憶に残っており今でも懐かしい気持ちになります。今、考えるとあの頃からこの病院には縁があったのかなと思っております。

整形外科疾患では、骨折や変形性関節症、脊椎疾患、脊髄損傷の方など様々な方々が入院してこられます。リハビリテーションは急性期病院での治療と違い急に症状が改善してくるということはありません。時間をかけながら一歩ずつ機能を改善していくことになり、当然一人一人目指すゴールも異なります。どのような生活が最適なのかを考えながらリハビリを行い地域のために貢献できればと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。



群馬リハビリテーション病院
整形外科医長
西野目 昌宏 医師



基本理念

明日をめざして

リハビリテーションを一人ひとりに

基本方針(三位一体)

まごころ



- 患者さん本位の「まごころ」ある良質な医療を提供する。
- 患者さん本位の「思いを込めて」ケアを実践する。
- 患者さん本位の「癒し」の施設を追及する。

ふれあい



- 地域活動にも積極的に参加し、地域住民との「ふれあい」を大切にする。
- 「良質な温泉」「緑豊かな自然」との調和をめざし、自然環境を大切にする。
- あいさつは明るく笑顔でまずわたしから。

おもいやり



- 職員同士お互いを「おもいやり」、情報の共有化を図る。
- 相手の立場を理解し、常に次の人のことを考える。
- 安全で明るく働きがいのある職場を確保する。

回復期リハビリテーション病棟 診療実績

(2019年 4月～9月)

在宅復帰率	85.6%	重症患者受入率	40.7%
平均病床利用率	91.2%	重症患者改善率	49.5%
平均在院日数	96.2日	1日あたりの平均リハビリ提供単位数	6.7単位
疾患別割合(脳血管疾患等72.5%、運動器21.5%、廃用症候群6.0%)		休日における平均リハビリ提供単位数	7.0単位

平成30年度入院統計

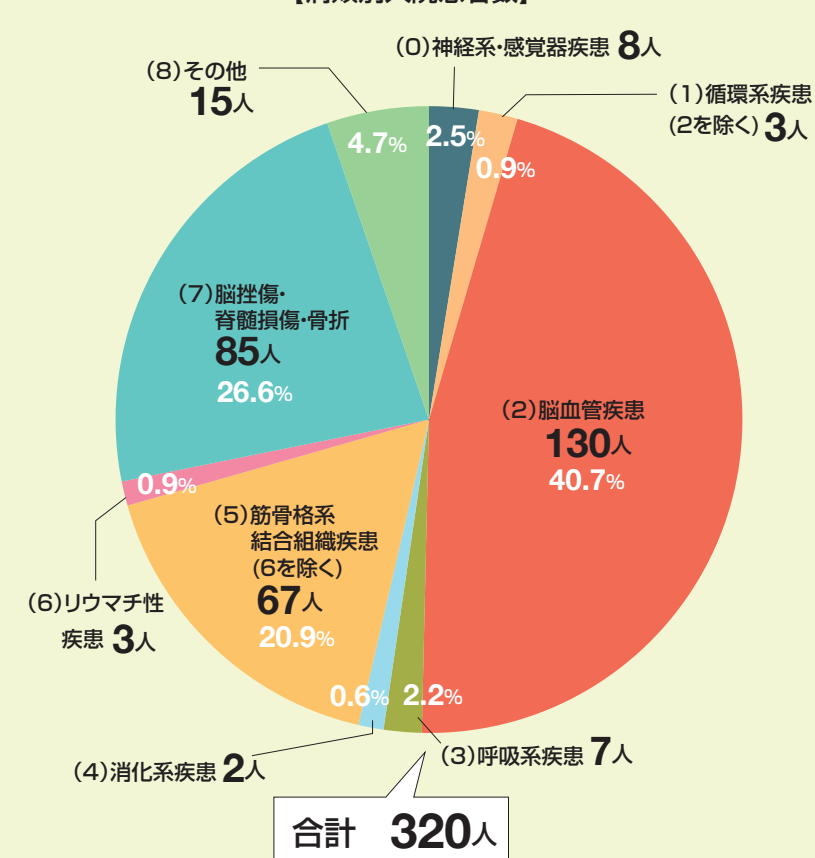
【地区別入院患者数】

郡市名	計	%
前 橋	26	8.1
高 崎	25	7.8
桐 生	4	1.3
伊勢崎	6	1.9
太 田	7	2.2
沼 田	18	5.6
館 林	0	0.0
渋 川	39	12.2
藤 岡	5	1.5
富 岡	9	2.8
安 中	11	3.4
みどり	0	0.0
佐 波	0	0.0
北群馬	7	2.2
多 野	0	0.0
甘 楽	4	1.3
吾 妻	134	41.9
利 根	9	2.8
邑 楽	2	0.6
県 外	14	4.4
合 計	320	100

【県外別入院患者数】

都県名	計	%
東 京	4	28.6
埼 玉	8	57.2
神奈川	1	7.1
山 梨	1	7.1
合 計	14	100

【病類別入院患者数】



【性別・年齢別入院患者数】

年 齢 層	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	(人)
10才～19才	計(0)														0%
20才～29才	男(1) 女(0) 計(1)														0.3%
30才～39才	男(4) 女(2) 計(6)														1.9%
40才～49才	男(10) 女(4) 計(14)														4.4%
50才～59才	男(15) 女(14) 計(29)														9.1%
60才～69才	男(25) 女(28) 計(53)														16.5%
70才～79才	男(46) 女(43) 計(89)														27.8%
80才以上	男(56) 女(72) 計(128)														40.0%
合 計	男 157人 女 163人 計 320人														100.00%

食べる事は 生きること。

食べる楽しみはいつになっても嬉しいものです。
食べる事に悩みを抱える人を1人でも多く減らすことを
目的に、2019年12月から摂食嚥下の評価・指導を行う『嚥下
外来』を始めました。
まだまだスタートしたばかりですが、地域の皆さんのお役に
立てるように頑張っていきたいです。
自宅で生活をしている中で、食べる事に不安を感じている、
肺炎を繰り返している人は、摂食嚥下障害の可能性がある
ため、一度、画像診断のための受診をおすすめします。

当院の「嚥下外来」の流れです。

完全予約制のため、事前に電話による予約をお願いします(前日の午前中まで)。

■当日の流れ 受付 → 診察 → 画像検査

受付

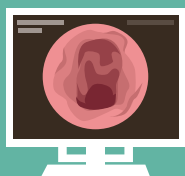
電話にて予約をお願いします。診察は毎月第1・3週の水曜日の午後になります。

診察

食べる事への問診・摂食嚥下機能のスクリーニング検査を実施し、現状の摂食嚥下機能を評価します。

画像検査

(嚥下内視鏡検査:VE)



現状の摂食嚥下機能に心配な点が見つかった方のみ嚥下内視鏡検査(VE検査)を実施します。
ファイバースコープを鼻から入れ、実際に食べ物を食べてもらい、飲み込みの様子を評価します。
当院では、2019年12月現在、4人の医師がVE検査を行っています。口から食事が食べられずに鼻か
ら管が入っている入院患者さんでも、食べられる様に間接的嚥下訓練を実施し、VE検査を行い、口か
ら食べる練習につながっています。早い人は、少数ですが、1回目のVE検査ですぐに食事が開始となる
患者さんもいらっしゃいます。画像診断する事で誤嚥(食べ物が気管に入ってしまうこと)が起きて
いるか評価が出来、誤嚥性肺炎や窒息のリスクが減らせます。そのため、当院では積極的にVE検査を
行っています。

『嚥下外来』の対象者について

■嚥下(えんげ)外来 対象者

- 食事中にむせる事が多くなってきた
- 食事量が食べられなくなってきた
- 唾液や水分でむせる事が増えた
- 食べているとき、ノドにつかえる感じがする
- 以前に比べて痰が増えてきている
- 以前に比べてやせてきている
- 肺炎を繰り返す
- 食事時間が以前に比べて長くなる
- 飲み込みについて不安がある

■嚥下内視鏡検査(VE検査) 実際の様子



■当院の院長から。

2000年より開始したVE検査です。

当時は摂食嚥下障害のメカニズムについてがトピックス
でした。

現在は、『フレイル(虚弱)』から派生した『オーラルフレ
イル』がトピックスになっています。

メタボ予防でも、フレイル予防でも、健康であるためには
食べる事が欠かせません。

健康寿命を延ばすために、『食べる』ための異常も早期
発見・早期治療を心がけたいです。



えんげ
嚥下外来

開院日時 第1・3水曜日 13:30~ 完全予約制

お電話にてご予約ください

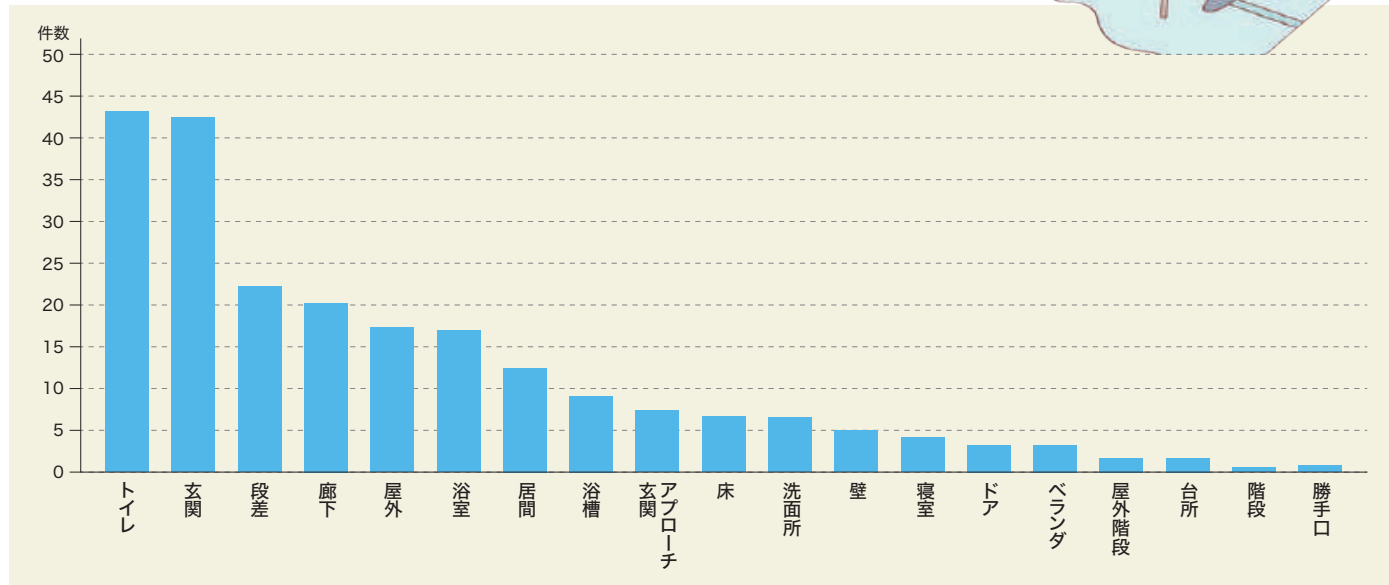
公益社団法人 群馬県医師会 群馬リハビリテーション病院

TEL.0279-66-2121 (担当:医事課)

実績報告:2018年度退院前指導

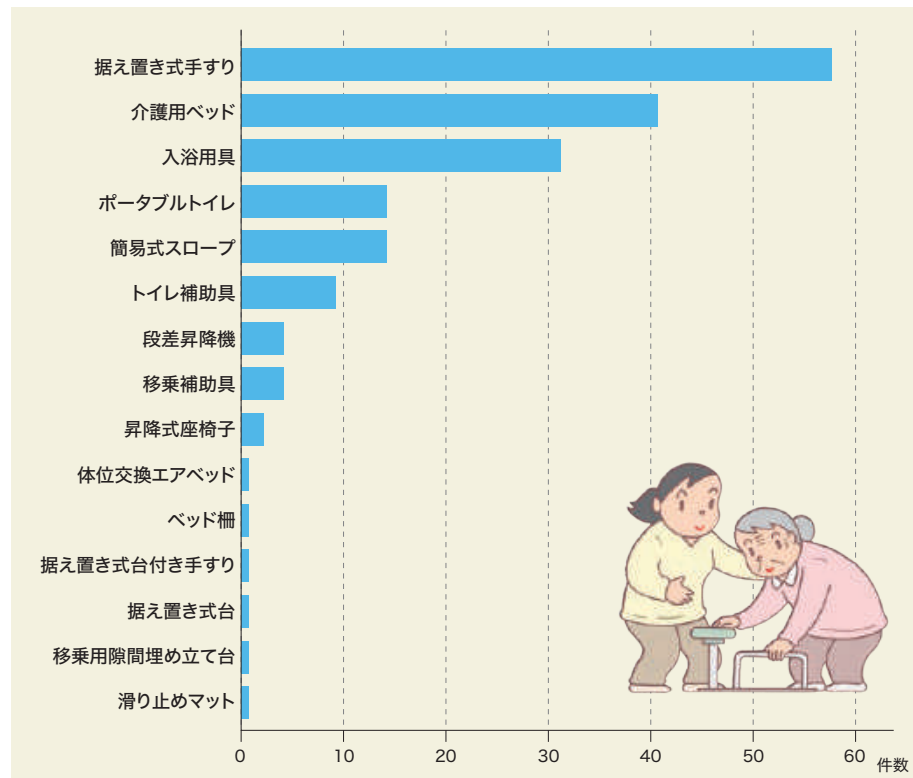
2018年度における退院前訪問指導は117件あり、吾妻郡内57件・吾妻郡外60件でした。
今回はその内訳である住宅改修、福祉用具の選定等について報告します。

【図1】 住宅改修施行箇所(福祉用具を除く。)



【図1】に示したように、トイレ・玄関・段差・廊下・屋外(駐車場から玄関までのスペース等)・浴室・居間など生活の中で多用する移動導線に改修が集中しています。改修が必要である患者さんは、身体の麻痺や筋力低下などからバランス低下が生じているケースが多く、屋外では不整地を整備することや、飛び石などを移動し移動スペースや介助スペースを確保することを行います。また、玄関では上がり框の段差に昇降台や手すりを設置することも多く行われています。退院前訪問指導時の住宅改修提案箇所は1件あたり3.28箇所でした。改修費用や保険適用にも配慮し、提案させていただいております。

【図2】 福祉用具による環境調整



住宅改修だけでなく福祉用具による環境調整も同時に行う事が多く、【図2】に示したように、据え置き式手すり・介護用ベッド・入浴用具等を使用する方が多い事がわかります。据え置き式手すりはあらゆる場所に設置できる利便性が特徴であり、住宅改修と異なり、変化する身体能力に応じて撤去・増設が容易に行えます。また介護用ベッドは立ち上がり・起き上がりなどを支援できだけでなく、介護動作が行いやすいため多くの方が使用しているようです。退院前訪問指導により患者さんも現実感が湧き、更にリハビリに集中していただけます。住み慣れた環境で生活することは患者さんの大きな願いのひとつです。住宅改修と福祉用具による環境調整等を行う事で、患者さんの願いの実現に向けて支援させていただいております。

医療機関情報(関東信越厚生局長への届出に関する事項)

基本診療料

- 回復期リハビリテーション病棟入院料1
- 療養病棟入院料2
- 療養病棟療養環境加算1
- 感染防止対策加算2
- 体制強化加算1
- 認知症ケア加算1
- 入退院支援加算1
- 地域連携診療計画加算
- 診療録管理体制加算2
- データ提出加算1

特掲診療料

- 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)
- 運動器リハビリテーション料(1)

回復期リハビリテーション病棟 対象患者区分表

	疾 患	発症から入院まで
1	①脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後、または義肢装着訓練を要する状態 ②高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の脊髄損傷者および頭部外傷を含む多部位外傷	2ヶ月以内に入院が必要 〔算定期間〕 1－①…150日 1－②…180日
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折、または二肢以上の多発骨折の発症後または手術後	2ヶ月以内に入院が必要 〔算定期間〕90日
3	外科手術または肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後	2ヶ月以内に入院が必要 〔算定期間〕90日
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靱帯損傷後	1ヶ月以内に入院が必要 〔算定期間〕60日
5	股関節または膝関節の置換術後の状態	1ヶ月以内に入院が必要 〔算定期間〕90日

※但し、算定開始日数控除対象入院料等を算定する患者に対して、一日6単位以上のリハビリが提供された場合には、その日数をこの2ヶ月(上記1～3)、または1ヶ月(上記4～5)の期間から30日を限度として控除できます。
ちなみに、算定開始日数控除対象入院料等を算定している患者とは、以下の通りです。

- 一般病棟入院基本料
- 特定機能病院入院基本料
- 専門病院入院基本料
- 総合入院体制加算
- 救命救急入院料
- 特定集中治療室管理料
- ハイケアユニット入院医療管理料
- 脳卒中ケアユニット入院医療管理料

患者さんの権利と義務

当院では次の事項を旨とし、患者さんと医療従事者が手を結び合い、より良い医療の実現を目指します。

【権 利】

- 平等かつ最善な医療を受ける権利があります。
- 自らの状況について十分な情報を得る権利があります。
- 自らの意志に基づいて医療行為を選択する権利があります。
- プライバシー尊重の権利があります。
- セカンドオピニオンを要求する権利があります。

【義 務】

- 医療提供者に正確な情報を伝える義務があります。
- 自らの状況について納得いくまで質問する義務があります。
- 出来る限り自らの意向を正確に伝える義務があります。
- 他の患者さんへの医療に支障がないよう配慮する義務があります。

群リハ トピックス

第8回 中之条まちなか5時間リレーマラソン

12月1日(日)『第8回中之条まちなか5時間リレーマラソン』に、今年も当院から参加しました。中之条町の大会イベントでもある「まち5」。5時間のたすきリレーを10人で走り続け**250チーム中19位と大健闘**でした。



今年は、「レクレーション」を実施しました！

7月25日、9月26日、10月25日の3回にわけて、スポーツレクレーション・地元四万温泉のハイキングを実施しました。「とても楽しかった♪」と、職員からの声をいただきました。良い気分転換になり、職員同士の絆も深まりました。



群馬リハビリテーション病院 外来診療案内

お問い合わせ TEL.0279-66-2121

※変更になる場合がございますので、随時お問い合わせください。

2019.8/1～

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
内科	午前	西 勝久	中村 俊介	休診	西 勝久	神経内科 長嶋 和明	休診
	午後	休診	休診	休診	休診	休診	休診
整形外科 (15:00～)	午前	西野目 昌宏	神山 愛沙香	眞塩 清	神山 愛沙香	野崎 達也	休診
	午後	休診	休診	休診	リウマチ科 [第1・3・5]坂根	休診	休診

外来診療受付時間
9:00～11:30

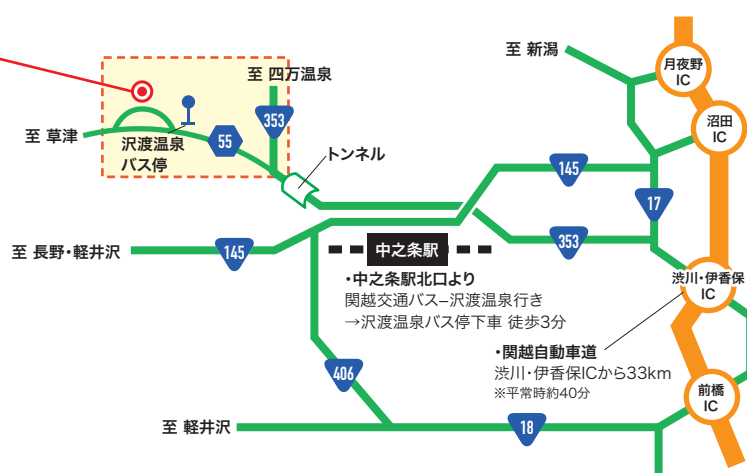
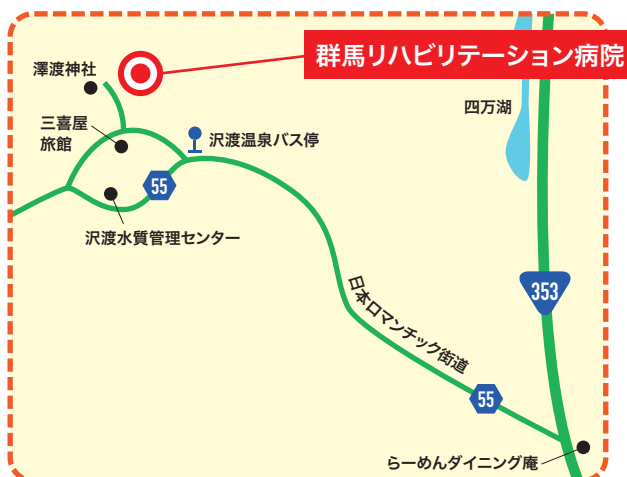
診察時間
9:30～12:00

休診日
日曜・祝日・年末年始(外来リハビリもお休みです)

リウマチ科 第1・3・5 木曜日 15:00～

神経内科 毎週 金曜日 長嶋医師は内科の診察も行なっております。

※保険証は、毎月必ずご提出ください。 ※担当医は、変更になることがあります。



リハビリテーション科、内科、整形外科、神経内科、リウマチ科

群馬リハビリテーション病院

〒377-0541 群馬県吾妻郡中之条町大字上沢渡2136

TEL.0279-66-2121 FAX.0279-66-2900

<https://reha.gunma.jp>

群馬リハビリテーション病院

検索